

ブロモクリプチンメシル酸塩製剤の報告副作用

ダイト株式会社

製品名	ブロモクリプチン錠2.5mg「フソー」(販売開始:1992年8月)																									
有効成分	ブロモクリプチンメシル酸塩																									
報告副作用	<p>自社品でのPMDA報告副作用(重篤症例)につきましては下記の通りです。                  医薬品の適正使用の資料としてご利用下さい。</p> <p>2024年4月1日現在                  報告副作用 1件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>報告年度</th> <th>性別</th> <th>年齢</th> <th>原疾患等</th> <th>被疑薬</th> <th>有害事象</th> <th>併用被疑薬</th> <th>転帰</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2006</td> <td>女</td> <td>60歳代</td> <td>全身性エリテマトーデス、ループス腎炎、精神症状</td> <td>パーロミン錠2.5mg(旧販売名)</td> <td>悪性症候群</td> <td>ダントロレンナトリウム</td> <td>回復</td> </tr> </tbody> </table>									報告年度	性別	年齢	原疾患等	被疑薬	有害事象	併用被疑薬	転帰	1	2006	女	60歳代	全身性エリテマトーデス、ループス腎炎、精神症状	パーロミン錠2.5mg(旧販売名)	悪性症候群	ダントロレンナトリウム	回復
	報告年度	性別	年齢	原疾患等	被疑薬	有害事象	併用被疑薬	転帰																		
1	2006	女	60歳代	全身性エリテマトーデス、ループス腎炎、精神症状	パーロミン錠2.5mg(旧販売名)	悪性症候群	ダントロレンナトリウム	回復																		